



昭和大学 サポート寄付制度



〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
<http://www.showa-u.ac.jp/>

昭和大学サポート寄付制度に関するお問い合わせ
Tel. 03-3784-8387 (総務部 企画課)

2023年 10月 発行





学校法人昭和大学 理事長
小口 勝司



昭和大学 学長
久光 正

皆様におかれましては、平素より昭和大学の教育・研究活動に格別のご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昭和大学は、学祖である上條秀介博士により、昭和3年(1928年)に昭和医学専門学校を創設しました。以来、建学の精神である「至誠一貫」の心を備えた優れた医療人の育成に努めて参りました。令和10年(2028年)には創立100周年という大きな節目を迎えます。

現在では、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の4学部と大学院、専攻科、8附属病院、2診療施設を擁する医系総合大学として発展し、少子高齢化の進展や社会構造の転換に伴い、医療に期待される役割も大きく変化しており、本学はその環境下においても、社会に貢献すべく健全な大学運営の充実を図っています。

「昭和大学サポート寄付制度」は、平成24年(2012年)に創設されました。学生への奨学金を始めとする学生生活サポート、様々な分野の研究への活用や医療設備の拡充など、ご支援の目的をお選びいただけるシステムです。

令和5年(2023年)から創立100周年の記念事業も展開し、教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進していく所存です。

創設以来、多くの皆様から深いご理解と温かいご支援が大きな支えとなっております。同窓生の皆様、学生の保護者の皆様、企業の皆様そして職員をはじめ、多くの関係者の皆様方にご理解をいただき、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付の目的一覧

- | | | | |
|---------------------|----------------------------|---------------------|--------------------------------|
| SUPPORT
1 | 基金 への寄付
P3・P4 | SUPPORT
5 | 施設設備 への寄付
P11・P12 |
| SUPPORT
2 | 教育研究 への寄付
P5・P6 | SUPPORT
6 | 創立100周年記念事業
P13 |
| SUPPORT
3 | 医療施設 への寄付
P7・P8 | SUPPORT
7 | 大学主催行事 への寄付
P14 |
| SUPPORT
4 | 学生支援 への寄付
P9・P10 | SUPPORT
8 | その他 (様々な用途) への寄付
P14 |

ご寄付の状況(令和4年度実績)

寄付の項目	件数	金額合計
SUPPORT 1 基金への寄付	8件	3,510,000 円
SUPPORT 2 教育研究への寄付	50件	88,110,000 円
SUPPORT 3 医療施設への寄付	45件	29,190,000 円
SUPPORT 4 学生支援への寄付	27件	8,260,000 円
SUPPORT 5 施設設備への寄付	8件	2,240,000 円
SUPPORT 6 創立100周年記念事業	311件	138,631,720 円
SUPPORT 7 大学主催行事への寄付	5件	1,660,000 円
SUPPORT 8 その他(様々な用途)への寄付	4件	1,870,794 円
総寄付実績	458件	273,472,514 円

SUPPORT
1 基金への寄付

学びへの意欲に応え、
次代につながる人間力を育てたい。

奨学金制度の拡充、継続を目的に資金を積み立て、その運用益を学生等へ還元します。
基金とは資金を積み立てて、その運用益(預金利息等)を財源に奨学金制度の形で学生等へ還元していくものです。



令和4年度寄付実績

8件

3,510,000円

学業・人物優秀者の表彰



令和4年度 卒業式

パシフィコ横浜国立大ホールで挙行し、医学部 120 名、歯学部 89 名、薬学部 172 名、保健医療学部 155 名(看護学科 105 名、理学療法学科 35 名、作業療法学科 15 名)合わせて 536 名が医療人としての門出を迎えました。

式典では、在学中に優秀な結果を残した卒業生に贈られる上條賞、同窓会賞、上條旗ヶ岡賞の授与も行われました。上條賞は、本学創設者の上條秀介先生からの寄付金をもとに創設されました。表彰は毎年卒業式の中で行われ、盾が贈られます。

学業・人物優秀者の表彰



医学部附属看護専門学校卒業式

医学部附属看護専門学校の第 57 回卒業式を上條記念館で挙行し、126 名が卒業を迎えました。式典では、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる鈴木モヨ賞、石井満賞、そして昭桜会賞の授与が行われました。



寄付項目

1-1 上條奨学基金 上條奨学賞/上條賞

創立者である上條秀介博士からの寄付金を原資としています。主に教員に対する有益な学術研究業績や教育上の功績の表彰及び人物優秀かつ学業成績優秀な学生の表彰に充当されます。

1-2 上條旗ヶ岡賞基金 上條旗ヶ岡賞

上條一也学長の逝去に伴い、上條家から寄せられた寄付金をもとに創設されました。在学中、課外活動において本学の名を宣揚せしめ、かつ人物・学業優秀な学生への表彰(卒業時)に充当されます。

1-3 昭和大学奨学・研究奨励基金

令和3年度より開始した給付型のシニア奨学金制度や、学部学生が経済的理由などにより修学が困難な状況をサポートする昭和大学奨学金制度など、本学の将来を担う優秀な人材を育成するほか、研究費および海外留学諸活動費の補助金等に充当され、優秀な若手研究者を育成することを目的としています。

1-4 鈴木モヨ賞基金 鈴木モヨ賞

この基金は、鈴木モヨ昭和大学病院総婦長の逝去に伴い、ご遺族からの寄付金を基に創設されました。昭和大学医学部附属看護専門学校学生で、在学中における学業・人物優秀者の表彰(卒業時)に充当されます。

1-5 石井満賞基金 石井満賞

この基金は、石井満昭和大学医学部附属看護専門学校主事の逝去に伴い、ご遺族からの寄付金を基に創設されました。昭和大学医学部附属看護専門学校学生で、在学中における学業・人物優秀者の表彰に充当されます。

1-6 武重優秀クラブ賞基金 武重優秀クラブ賞

この基金は、武重千冬学長の逝去に伴い、武重家から寄せられた寄付金をもとに創設されました。学生の課外活動において、本学の名を宣揚せしめ、かつ優秀な成績をあげたクラブ・団体への表彰に充当されます。

SUPPORT 2 教育研究への寄付

最先端の研究活動を支え、
未来の価値をともに創造したい。

脈々と受け継がれてきた本学の探究心。幅広い分野で先進の研究に取り組んでいます。
本学(本法人が設置する専修学校を含む)の教育研究の維持向上をはかるための資金として使用される寄付金です。



令和4年度寄付実績

50 件

88,110,000 円

チーム医療教育

全学年にわたる継続的な
カリキュラムで実践的な
チーム医療人を育成

全学部教育職員および附属病院が連携して構築する昭和大学独自の『チーム医療』プログラム。初年次全寮制による学部の垣根を越えた生活から始まり、初年次体験実習、PBLチュートリアル、学部連携病棟実習、最終年度の選択実習まで年次のステップに合わせて、学習の場と内容を広げていく継続的なカリキュラムは国内でも数少ないものです。多くの医療現場で異なる学部の学生がチームとなり、お互いの専門知識やスキルを共有し、時代のニーズに対応できる医療人の育成に取り組んでいます。



研究所

富士山麓自然・生物研究所の設立

富士山麓自然・生物研究所は、富士山麓の自然環境と生態系の保全に寄与することを目的として令和4年5月11日に設立されました。標高3,776mの富士山の裾野には、富士五湖を含む水域や、国立公園のような保護された地域から伐採地といった人為的な影響が大きい陸域まで存在します。富士山は2013年に世界文化遺産に登録されて以来、山麓地域を包含した保全の取り組みがより一層求められています。



寄付項目

2-① 教育研究協力資金

教育研究の充実に向け本学は財政基盤の強化に取り組んでいます。しかしながら、国庫補助金の削減や医療費の抑制など、私立の医系大学を取り巻く情勢は年々厳しさを増しています。教育研究協力資金としてご寄付いただいた資金は、教育研究の充実、発展および施設設備の整備充実を図るための資金として活用させていただきます。

2-② 医学部 2-③ 歯学部 2-④ 薬学部 2-⑤ 保健医療学部 看護学科

2-⑥ 保健医療学部 理学療法学科 2-⑦ 保健医療学部 作業療法学科

本学は4学部、6学科を擁する医系総合大学です。「至誠一貫」の建学の精神に基づき、各学部・各学科から多くの専門家を輩出してきました。専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造をめざすことを使命として、教育に取り組んでいます。

2-⑧ 大学院医学研究科 2-⑨ 大学院歯学研究科

2-⑩ 大学院薬学研究科 2-⑪ 大学院保健医療学研究科

本学大学院は4研究科を擁し、さらなる高度な専門知識と技術を身につけ、さらに応用・発展をめざす医療従事者・研究者を輩出しています。大学院保健医療学研究科では、診療放射線領域、臨床栄養学領域、臨床検査学領域を新設し、より専門能力の高い実践指導者や教育者の育成に取り組んでいます。

2-⑫ 助産学専攻科

助産学の分野についての豊かな学識を養い、安全で質の高い助産ケアを提供する高度な専門職業人を養成しています。

2-⑬ 富士吉田教育部

昭和40年(1965年)に始めた山梨県富士吉田キャンパスでの「初年次全寮制教育」は、本学の教育システムの中でも最も特色があります。1年間の寮生活において培われた成果は、将来医療人として欠かせない問題解決能力の育成と、全人的医療の実践に大きく貢献しています。

2-⑭ 医学部附属看護専門学校

本学には、医学部附属看護専門学校が設置されており、人間性豊かな医療人を育てるため、より実践的な教育が行われています。

2-⑮ 図書館

図書館では教育・研究に不可欠な資料の収集、保存ならびに提供をしています。蔵書数は医系総合大学にふさわしく関連領域の資料約36万冊をそろえており、電子化資料の導入により学生・教育職員の利便性拡大に取り組んでいます。また、昭和大学の学術成果(学内発行雑誌、学位論文等)を集積する場をインターネット上に無償で公開し、学術の発展に寄与しています。

2-⑯ 研究所

本学における研究の一層の充実のため、以下の8つの機関を研究所とし、最新の研究に取り組んでいます。

- 先端がん治療研究所(旗の台キャンパス内)
- 臨床薬理研究所(烏山病院内)
- 発達障害医療研究所(烏山病院内)
- スポーツ運動科学研究所(藤が丘リハビリテーション病院内)
- 富士山麓自然・生物研究所
- 臨床ゲノム研究所
- 脳機能解析・デジタル医学研究所
- ストレスマネジメント研究所

2-⑰ 各講座・研究室 奨学寄附金

各研究室に所属する研究者たちは、それぞれの専門分野をベースに、他の分野の研究者とも切磋琢磨しながら研究を進め、これらの研究成果は、新たな治療法の確立、新薬開発への礎として臨床で応用されています。

2-⑱ 教育職員等 奨学寄附金

本学の教育職員への研究活動へのご支援や、その他職員へのご支援についても、ご意向に沿った形で活用させていただきます。

SUPPORT 3 医療施設への寄付

優れた医療人を育成するために、その根幹となる医療施設を充実したい。

医学教育の中核となる病院施設。その充実こそが医療人としての将来の力につながります。

令和4年度寄付実績

45 件

29,190,000 円

医療施設

昭和大学病院 17階 特別病棟

令和4年度に入院棟17階に特別病棟の新設工事を実施し、快適な入院生活と充実した医療体制の両立をめざし令和5年4月にオープンいたしました。全病室が完全個室仕様で、病棟コンシェルジュの導入により質の高いサービスを提供し、入院生活をサポートしています。特別病棟直通のエレベーターも設置し、より快適にエグゼクティブフロアへの移動が可能となりました。病院最上階からの景色も堪能でき、快適な時間を過ごせる上質な空間が広がります。



医療施設



遠隔集中治療患者支援システム (eICU)

昭和大学病院と昭和大学江東豊洲病院において接続し、稼働している集中治療支援システム (eICU) に2023年度より昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院も接続いたしました。ICUと支援センターとを接続することで、多忙な集中治療現場をサポートするシステムとなっております。

支援センターでは集中治療科医師と看護師、医師事務補助者の3職種が勤務し、システムを駆使して現場から収集した情報から重症患者の病状変化や治療効果の評価を行いながら支援を行います。



寄付項目

3-① 昭和大学病院

〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8
TEL03-3784-8000 [許可病床数 総数815床]

厚生労働省より「特定機能病院」に指定され、高度な医療の提供や高度な医療安全の管理体制などを実践しています。また、東京・城南地域における中核病院としての役割も果たしております。さらに、大学附属病院として「医療人の育成」「研究活動」にも積極的に取り組んでいます。



3-② 昭和大学病院附属東病院

〒142-0054 東京都品川区西中延2-14-19
TEL03-3784-8000 [許可病床数 総数199床]

高度急性期医療を担う昭和大学病院と緊密な連携を保ちながら、患者さんの受入や継続した治療にあたっています。また、急性期病院として質の高い医療を提供するとともに、大学附属病院の使命である「医療人の育成」「研究活動」についても積極的に取り組んでいます。



3-③ 昭和大学藤が丘病院

〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
TEL045-971-1151 [許可病床数 総数584床]

地域の中核病院として高度な先進医療を提供する役割を担っています。神奈川県指定の三次救急医療機関として救命救急センターを備え、横浜市だけでなく、広く県北部と隣接地域をカバーしています。また、卒前、卒後の臨床教育、研究活動も盛んに行われています。



3-④ 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2-1-1
TEL045-974-2221 [許可病床数 総数197床]

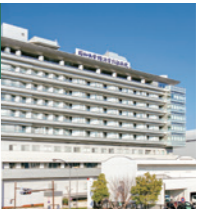
1990年当時、日本唯一の都市型リハビリテーション病院として開院しました。隣接する藤が丘病院、横浜市北部病院と密接な連携を保ちながら、最新のリハビリ施設と医療システムを駆使して、患者さんの早期回復、社会復帰を援助しています。



3-⑤ 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
TEL045-949-7000 [許可病床数 総数689床]

2001年、横浜・港北ニュータウンの中心部に開設。横浜市の北部医療圏の急性期医療を担う役割を果たしています。また甲状腺センターや女性骨盤底センターを開設し、専門医療の拡充も図っています。大学附属病院としてこれからの時代を担う医療者育成のため、研修医や専攻医の教育・指導だけでなく、メディカルスタッフ全体の育成と教育を行っています。



3-⑥ 昭和大学江東豊洲病院

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38
TEL03-6204-6000 [許可病床数 総数400床]

昭和大学附属豊洲病院の移転・拡張により、2014年3月に東京湾ウォーターフロントに開院。小児医療と周産期医療に重点を置いた「女性と子どもにやさしい医療」を提供しています。高度で先進的医療を提供する大学附属病院として医師及び看護師、その他医療人の育成と教育を行っています。



3-⑦ 昭和大学附属烏山病院

〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
TEL03-3300-5231 [許可病床数 総数340床]

1951年に本学附属病院となり、精神科領域の教育・研究に貢献してきました。診療では、発達障害、依存症、認知症など多数の分野で専門的医療を実践し、東京都区西南部における精神科医療の中核を担っています。



3-⑧ 昭和大学歯科病院 昭和大学歯科病院内科クリニック

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL03-3787-1151 [許可病床数 総数22床]

1977年、歯学部の附属病院として洗足キャンパスに設置され、卒前、卒後の臨床の場として社会に求められる臨床歯科医を養成しています。また地域歯科医療の中核として大きな実績を上げています。



3-⑨ 昭和大学豊洲クリニック

〒135-0061 東京都江東区豊洲5-5-1
豊洲シエルタワー3階 TEL03-3531-9920

[予防医学センター]
大学病院ならではの医療連携で、病気の予防と早期発見の推進に向け、人間ドック・健康診断など、安心かつ精度の高い検査を行っています。



基金

教育研究

医療施設

学生支援

施設設備

創立100周年

大学主催行事

その他

SUPPORT 4 学生支援への寄付

有意義な学生生活を支え、
昭和での感動をより価値あるものへ。

国際交流や部活動など、さまざまな活動をサポートします。



令和4年度寄付実績

27 件

8,260,000 円

クラブ活動

令和4年度のクラブ活動

昭和大学は、医療系大学でありながら、クラブ活動が盛んです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は引き続き活動そのものが制限されていました。学生は、クラブ活動と感染予防の両立を目的とした感染防止対策ガイドラインを遵守したうえで活動しています。その状況下で馬術部において全日本医歯薬学生馬術連盟主催の馬術競技大会で優勝を果たしました。本大会では、一昨年・昨年と優勝しており大会3連覇を達成しております。



国際交流

国際交流センター

コロナ禍において、国際交流センターではオンラインで研修や交流を行っていましたが、2022年度より留学生の受入れや学生海外実習・研修への派遣を再開しました。また、留学生交流会、チャットクラブ、ワンデーツアーなど、日本にいらながらも留学生と本学学生が交流する機会を提供しています。

これからも多くの学生を積極的にサポートし、国際的な視野を持った医療系育成を目指します。



寄付項目

4-① 学生等の保健管理

学生・職員の健康を担う保健管理センターでは、保健管理に関する専門的業務を行い、健康の保持促進を図っています。

4-② 学生等の留学・国際交流

国際交流センターではさまざまな海外研修やプログラムを用意しています。また学生が国際交流の機会を得られるよう経費の面からサポートするため学生海外実習・研修に係る補助制度が設けられています。

4-③ 昭和大学公認クラブ

昭和大学は医療系大学でありながらクラブ活動が盛んです。学校公認の計77クラブ(体育系クラブ51団体、文化系クラブ26団体)の中には、当校の特色を生かし救急医療研究部、白馬診療部、北岳診療部、漢方生薬研究会、歯科医療研究会、薬理学研究会など複数の医療系クラブがあります。1年次の学生は、ほぼ全員がクラブに所属し、なかには複数のクラブを掛け持ちながら、文武両道の学生生活を実践しております。

体連所属団体

バスケットボール部	バレーボール部	ハンドボール部	柔道部	剣道部	空手道部
少林寺拳法部	陸上競技部	サッカー部	ラグビー部	アメリカンフットボール部	馬術部
水泳部	フィギュアスケート部	アイスホッケー部	山岳・ワンダーフォーゲル部	アマチュアボクシング部	ボウリング部
サーフィン部	応援指導部	M 硬式野球部	M 準硬式野球部	M 硬式庭球部	M 軟式庭球部
M 卓球部	M 弓道部	M スキー部	D 準硬式野球部	D 硬式庭球部	D 弓道部
D ゴルフ部	D スキー部	P 硬式庭球部	P バドミントン部	自動車部	ダンス部
P 弓道部	P スキー部	MD バドミントン部	MP ゴルフ部	DPNR 軟式庭球部	DP 卓球部
自転車競技部	PNR 準硬式野球部	NR バスケットボール部	NR バレーボール部	NR バドミントン部	NR 剣道部
NR アルティメット部	NR ソフトボール部	NR フットサル部			

文連所属団体

グリークラブ	MAS	軽音楽部	囲碁将棋部	演劇部	美術部
写真部	管弦楽団	ESS	PSM研究会	コンピューター部	手話部
白馬診療部	北岳診療部	漢方生薬研究会	歯科医療研究会	薬理学研究会	アカベラ部
社会科学部	NR 手話部	NR 茶道部	NR 陶芸部	NR P・W・M部(軽音)	NR ボランティア部
救急医療研究部	華道部				

4-④ 大学祭・寮祭等のイベント

仲間と共に過ごす時間、みんなで力を合わせて何かをつくりあげる経験は、とても有意義な一生の思い出となります。

6月 富士吉田キャンパス寮祭

6月に富士吉田キャンパスにて2日間にわたり行われ、1日目は体育大会、2日目は大学祭を行います。入学してまだ間もない学生同士が絆を深める貴重な機会となっています。

10月 旗の台キャンパス旗ヶ岡祭

毎年10月、2日間に渡って開催される大学祭。模擬店やステージイベントをはじめ、健康や医療に関する企画イベントなど、医療系大学ならではの催しも盛りだくさんです。また、医学部附属看護専門学校では、同期間の土・日曜日に「いぶき祭」を開催しております。

10月 横浜キャンパス緑風祭

横浜キャンパスで行われる緑風祭。小クラスの保健医療学部ならではの和気あいとしたアットホームなイベントは、毎年笑顔でいっぱいです。

SUPPORT
5 施設設備への寄付

本学がさらに発展し、
医系総合大学として輝いて行きたい。

キャンパス整備や施設整備など
学びの場の充実のために活用されます。

令和4年度寄付実績

8 件

2,240,000 円

赤松寮



新赤松寮の建設

富士吉田校舎に新たな学生寮となる赤松寮が完成しました。赤松寮は、初年次全寮制教育の生活の場として令和4年度の事業計画として建設工事を実施し令和5年度に完成しました。本学の特徴である4学部合同での寮生活は、他社への思いやりと共生のこころを育むとともに、幅広い視野を養います。

地上5階建てで、白樺寮、すみれ寮、百合寮と同様に、学生4人につき、学習用・寝室用にそれぞれ一部屋が配置され、共同スペースとして、学習スペースやラウンジ、浴室などがあります。また、浴室には昭和大学富士吉田温泉が引き込まれ、毎日、温泉を楽しむことができます。

横浜自然教育園

横浜自然教育園の整備

横浜キャンパス敷地内に令和6年3月開園を目指し横浜自然教育園の整備を進めております。本事業は4ヶ年計画として令和2年に整備が始まりました。学生が自然環境のもとで自然と触れ合うことにより豊かな人間性を育むための教育を実践するとともに、地域に一般開放し、大学と地域の交流の場とすることを目的としています。



寄付項目

5-① 病院施設・運営維持

老朽化した病院の維持、建て替えを見据えた環境の整備を行います。昭和大学病院では、特定機能病院として高度医療および研修を提供するとともに、高度急性期医療の充実と収益率の向上を図ってまいります。

5-② 校舎建設・運営維持

旗の台キャンパスでは、既存校舎の老朽化に伴い、耐震工事を進め、学生・職員にとってより良い環境を整備しております。また、富士吉田キャンパスにおいては、新たな寮の整備や、掘削した温泉の引き込みおよび足湯の設置を行いました。

5-③ 学生寮建設・設備維持

学生の経済的支援と、快適な学習生活を支えるため、寮のよりよい環境を整備します。富士吉田キャンパスにおいては、親元を離れて暮らす学生により良い環境を提供するため、令和2年度に完成した百合寮に加え、令和5年度に赤松寮を建設いたしました。

5-④ 職員寮建設・設備維持

福利厚生の一環として、看護師・臨床研修医を始め、職員のための寮を設置し、安心して働ける環境の整備を進めています。また、一部を外国人留学生・外国人研究者のための居住施設として整備し運営しております。



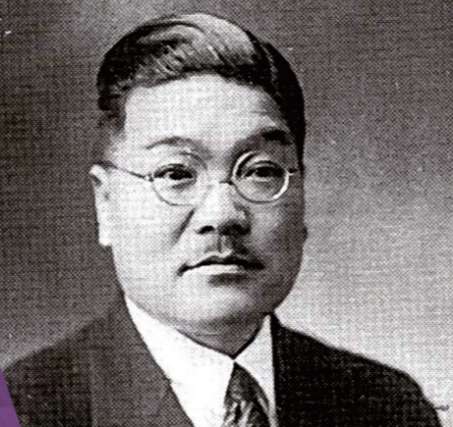
旗の台キャンパスにおける耐震化



富士吉田自然教育園

SUPPORT
6

創立100周年記念事業



「夢、追いかけて」

昭和大学は令和10年(2028年)に創立100周年を迎えます。

令和4年度寄付実績

311 件 | 138,631,720 円

創立100周年記念事業

創立100周年記念事業として、旗の台キャンパス整備事業、富士吉田キャンパス整備事業、藤が丘病院再整備事業、鷺沼キャンパス整備事業、歯科病院の旗の台移転事業、保健医療学部新学科等設置・再編事業、横浜キャンパス看護専門学校設置事業を計画いたしました。これらキャンパス整備事業は、教育・研究の礎を築く重要な場としてより一層良い環境を提供するため、新たなキャンパスの整備、既存施設の建替えおよび設備の更新を図ります。また、藤が丘病院につきましては、昭和50年(1975年)の開設以来、地域の中核的役割を担って参りましたが、建物・設備の老朽化や医療の高度化への対応から建替えによる整備を進めて参ります。



旗の台キャンパス整備事業

本事業は病院施設および大学施設の整備を計画するものとなります。

まず、病院施設の整備として、各附属病院の医療機能の強化を目的に、昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、昭和大学歯科病院、3病院の機能を統合させた、新たな病院の建設を検討しております。

また、大学施設の整備では、旗の台校舎の建て替えのほか、昭和大学病院附属東病院跡地やキャンパス周辺に所有する校地を活用した計画により、本学の中核を担う役割を継続していく予定です。

2028年(令和10年)を迎える100周年、その先を見据えた事業を進めてまいります。



富士吉田キャンパス整備事業

本事業は本学の大きな特徴である、「初年次全寮制教育」を担う富士吉田キャンパスの施設設備の更新を進め、学習環境・生活環境の充実を図るものとなります。

学習環境の向上として、新実習棟や新講義棟の建設を予定しております。また、生活環境の向上として、新寮の建設や食堂の改修などを予定しております。

昭和大学の強味である「チーム医療」が芽生える初年次において、質の高い教育を享受できる学習環境とチームの意識を強固にする生活環境を学生たちに提供すべく、富士吉田キャンパスの整備を進めてまいります。



鷺沼キャンパス整備事業

本事業は旗の台キャンパスの校舎整備計画の一環として行うもので、鷺沼校地を「鷺沼キャンパス」として開設する計画になります。

本計画は医学部、歯学部、薬学部の2、3年次と4年次の一部、保健医療学部の2～4年次、助産学専攻科の学生2,000人が学ぶキャンパスとして整備します。

本学が100周年を迎えるにあたり、学生たちのより充実したキャンパスライフを実現させ、医系総合大学としての使命を全うできるよう計画を進めてまいります。

※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

寄付項目

6-① 創立100周年記念事業

SUPPORT
7

大学主催行事への寄付



昭和の絆を育み、次の世代へ伝えたい。

世代を超えて、受け継がれる昭和イズム。大学主催行事をとおしてサポートします。

令和4年度寄付実績

5 件 | 1,660,000 円

大学の主な年間行事スケジュール

4月	● 入学式・入寮式・入職式・新入生歓迎会 ● 白衣授与式(歯)	10月	● ホームカミングデー(旗の台キャンパス) ● ホームカミングデー(横浜キャンパス) ● 解剖慰霊祭 ● 大学院秋季入学式
6月	● 学祖祭	11月	● 創立記念日(15日) ● 永年勤続者表彰
7月	● 夏季スポーツ大会壮行会 ● 旗ヶ岡盆踊り大会	1月	● 白衣授与式(薬・保)
8月	● 各学部オープンキャンパス ● 教育者のためのワークショップ	2月	● 国家試験(2月～3月)
9月	● 夏季スポーツ大会報告会 ● 白衣授与式(医) ● 大学院秋季修了式	3月	● 卒業式・大学院修了式

寄付項目

7-① 大学主催行事

SUPPORT
8

その他への寄付

様々な「想い」をかたちにしたい。

具体的な用途を指定することで、細やかなサポートをします。

令和4年度寄付実績

4 件 | 1,870,794 円

ご寄付の一例

ブルーウィンズ

2018年に創部された昭和大学女子アイスホッケークラブ「ブルーウィンズ」は、本学職員をはじめ、学生・社会人から構成されるチームです。チーム理念は「世界に通じるアイスホッケーチームであり続ける。常に高い目標を目指し、チーム活動を通し豊かな人間性と強靱な精神力を兼ね備えた世界で通用する人材を養成し、多くの人々に感動と喜びを届けることで広く社会に貢献する。」その理念のもと活動しています。



寄付項目

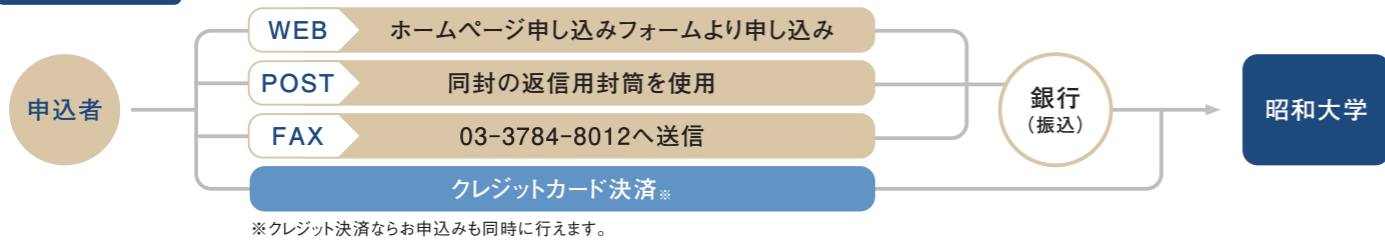
8-① その他(様々な用途)

お申し込み方法

受付期間 特に定めておりません

ご寄付の金額 個人・法人いずれも、一口当たりの金額は定めておりません

申込・振込先

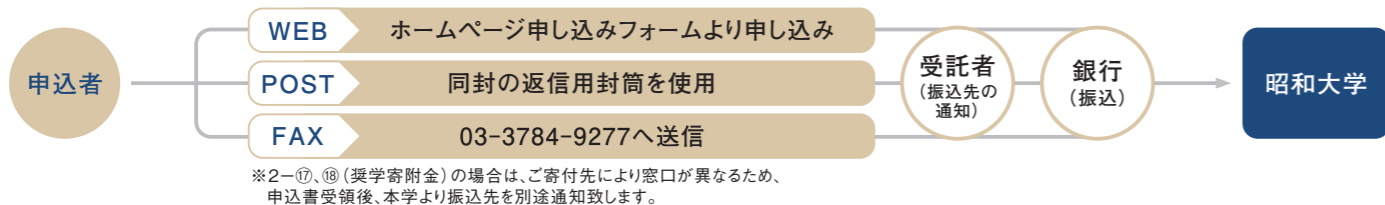


同封の振込用紙でのお支払いか、下記指定口座へ直接お振込ください。

振込先	口座番号	口座名
三菱UFJ銀行 わかたけ支店	普通 2497055	学校法人 昭和大学
ゆうちょ銀行・郵便局	00170-7-96602	学校法人 昭和大学

※振込手数料は、ご寄付者ご本人様のご負担となりますので、ご容赦ください。
※現金書類によるご送金や大学の窓口にて現金によるご寄付も受け付けます。

奨学寄附金の場合



個人情報の保護について

寄付金申込等でご記入いただいた個人情報は、適性な管理・保護に努め、本学及び日本私立学校復興・共済事業団での事務処理の目的に限り使用します。

現物による寄付

機器備品や図書、昭和大学の歴史に関する資料(ゆかりのある品)等の現物の寄付をお考えの方は、下記連絡先までご相談ください

旗の台 キャンパス	機器備品等	財務部経理課	03-3784-8018
	書籍	図書室	03-3784-8042
その他施設	昭和大学の歴史に関する資料	上條記念ミュージアム事務担当	03-3784-8031
	機器備品、書籍類	各施設管理課・事務課	

相続による寄付について

連絡先 総務部企画課 03-3784-8387

相続・遺贈によって財産を取得した方が、その取得した財産を昭和大学へ寄付した場合、その寄付金額には相続税が課税されません。

相続税の申告期限は被相続人の逝去日より10ヶ月以内とされています。申告に必要な書類の発行には、文部科学省への申請が必要となり、発行までに2ヶ月程度の時間をいただいております。ご検討の場合は、余裕を持って昭和大学総務部企画課までご相談くださいますようお願い致します。

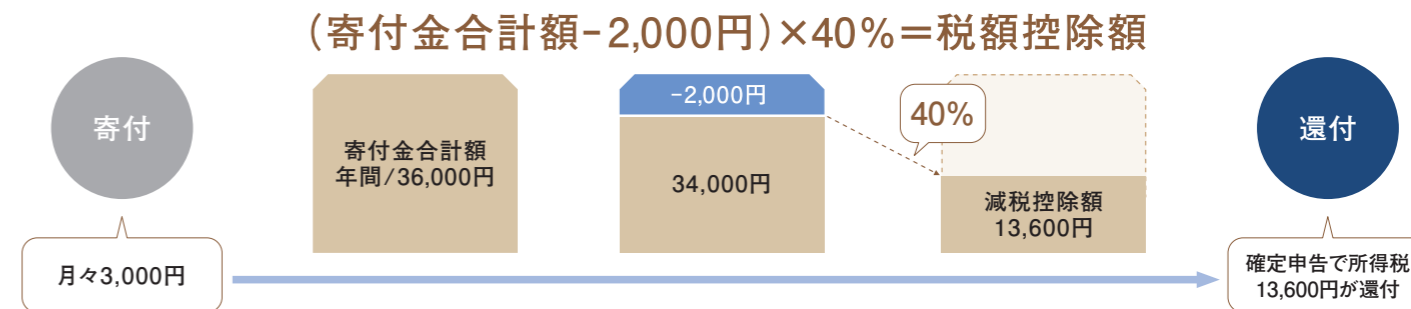
寄付に対する優遇措置

本学に対する寄付は、学校法人への寄付として税制上の優遇措置が講じられています。

個人の場合

本学は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けておりますので、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付金控除(税額控除)額の計算 例:月々3,000円のご協力の場合



[所得控除制度と税額控除制度] (どちらかを選択できます)

「所得控除」{ 寄附金額(総所得額の40%が限度) - 2千円 }を総所得額から控除

「税額控除」{ 寄附金額(総所得額の40%が限度) - 2千円 }×40%を所得税額から控除

※所得税控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。

[個人住民税の寄付金による控除]

東京都、品川区、神奈川県にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除の適用も受けられます。

{ 寄附金額(総所得額の30%が限度) - 2千円 }×控除率

※控除率: 道府県の指定は4%、市区町村の指定は6%、双方の指定は合計の10%となります。

寄付金の税額控除を受けるには、寄付された翌年の確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。

※詳しい内容、手続きについては、所轄の税務署にお問い合わせください。

法人の場合

法人からの寄付金につきましては、法人税法に基づいて、当該事業年度の損金に算入することができます。損金算入できる金額は寄付申込の種類により、下記のとおりとなります。

① 受配者指定寄付金制度のご利用について

[制度について]

受配者指定寄付金制度とは、日本私立学校振興・共済事業団が、私立学校の教育研究の発展に寄与するために、寄付者(企業等)からの寄付金を受け入れ、これを寄付者が指定した学校法人へ配付するものです。寄付を行う法人は、この制度を利用することにより、寄付金全額を損金算入することができます。

[手続きについて]

受配者指定寄付の手続きには、本パンフレット同封の申込書に加え、日本私立学校振興・共済事業団宛の所定の寄付申込書が必要になります。ご利用の場合は総務部企画課までご連絡ください。

※受配者指定寄付金は受領書の発行までに2ヶ月程度のお時間をいただいております。

連絡先 総務部企画課 03-3784-8387

② 特定公益増進法人に対する寄付金

特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額は、下記のように定められております。なお、優遇措置を受けるには、本学発行の「領収証」と「特定公益増進法人証明書(写)」が必要です。

①普通法人、協同組合等及び人格のない社団等(②に掲げるものを除きます)

$$(イ+ロ) \times \frac{1}{2} \left[\text{イ} = \text{資本金等の金額} \times \frac{3.75}{1000} \times \frac{\text{当該事業年度の月数}}{12} \right] \left[\text{ロ} = \text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100} \right]$$

②普通法人、協同組合等及び人格のない社団のうち資本又は出資を有しないもの、一般財団法人及び一般社団法人(非営利型法人に該当するものに限り)並びにNPO 法人(認定NPO 法人を除きます)などのみなし公益法人等

$$\text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100}$$

昭和大学サポート寄付制度申込書 記入例

昭和大学旗ヶ岡倶楽部のご案内

平成30年4月学校法人昭和大学では、その維持及び発展に寄与することを目的として「昭和大学旗ヶ岡倶楽部」を発足いたしました。

2-17、18(奨学寄附金)の場合

表面

裏面

昭和大学サポート寄付制度申込書
(申込書は同封の返信用封筒またはFAX(03-3784-8012)にて送付ください。)

学校法人昭和大学 理事長 殿
この度、下記のとおり寄付を申し込みます。

申込金額 **1,000,000** 円 ご記入日:2022年 4月 2日

寄付の目的
項目(4-③) 名称(昭和大学公認クラブ)
具体的な用途がある場合は、こちらにご記入下さい。
アイスホッケー部

(フリガナ) 氏名又は法人名 **株式会社〇〇代表取締役 〇〇 〇〇** (印) **〇〇株式会社**

生年月日 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日

住所 **東京都〇〇区〇〇 〇-〇-〇**

電話番号 **03-3784-0000**

担当者連絡先
(法人の場合は記入)
[所在地] 同上 (電話) 同上
[担当者名] △△ (部署) △△課
[メールアドレス] XXX@XXX-XX.XX
[事業年度] 月 日 ~ 月 日 (決算日)

※該当する区分全てにチェック(☑)し、必要事項を記入してください。

本校との関係
 保護者 (学生氏名) 〇〇 〇〇〇 (学生) 1年生
 同窓 (卒業学部等) 医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・看護専門学校・その他()
 職員 (所属) (勤務地) ()
 一般

※該当する支払い方法にチェック(☑)し、払込予定日を記入してください。

振込(払込)方法
 一括払込 払込予定日: **2021年 4月 10日**
 分割払込 分割回数: 〇回 払込予定日: 年 月 日 払込金額: 円
払込予定日: 年 月 日 払込金額: 円

職員で給与天引きを希望
 一括 ※お申込み頂いた月の翌月の給与から天引きします
 分割 ※お申込み頂いた月の翌月の給与から連続して天引きします

職員で賞与天引きを希望
 一括 ※賞与天引きにつきましては、受付期間を下記の通りとさせていただきます。
夏期賞与:5月1日~6月10日 冬期賞与:10月1日~11月10日

※該当するものにチェック(☑)をしてください。(複数可)

お名前掲載希望
 本校広報媒体(大学新聞・広報誌・パンフレット・ホームページ等)への掲載
 掲載希望名() ※
 掲載を希望しない

※掲載希望名につきましては、ご記載のない場合、申込者氏名にて掲載させていただきます。

お問い合わせ・ご提出先
学校法人昭和大学 総務部企画課 TEL:03-3784-8387

※大学総務課 受取者指定寄付 受付番号

2023年10月更新

- 1 寄付の目的(p.2)からご確認いただき、各ページの寄付項目よりご希望の用途をお選びください。
例:項目/4-③ 名称:昭和大学公認クラブ
- 2 法人で申し込まれる場合、法人名、ご担当者様連絡先をご記入ください。
- 3 納入方法は「一括」または「分割」が選択できます。
振込予定日・金額をご記入ください。
職員の方のみ、給与・賞与からの天引きも可能です。
※賞与からの天引きは受付期間を下記の通りとさせていただきます。
夏期賞与:5月1日~6月10日 冬期賞与:10月1日~11月10日
- 4 本校広報等へのお名前の掲載についてお選びください。
(2-17、18奨学寄附金は対象外)
※掲載希望のご芳名につきましては、ご記載のない場合、申込者氏名にて掲載させていただきます。

昭和大学サポート寄付制度申込書
(奨学寄付へお申し込みの方はこちらにご記入ください。)

学校法人昭和大学 理事長 殿
この度、下記のとおり寄付を申し込みます。

申込金額 **1,000,000** 円 ご記入日:2022年 4月 2日

寄付の目的
項目(2-①、2-②) 名称(奨学寄付)
具体的な用途がある場合は、こちらにご記入下さい。
 学部 講座 学部門 または 病院 科
例:講座・研究室・教職員の名義・授業等

(フリガナ) 氏名又は法人名 **株式会社〇〇代表取締役 〇〇 〇〇** (印) **〇〇株式会社**

生年月日 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日

住所 **神奈川県〇〇市〇〇 〇-〇-〇**

電話番号 **04-0000-0000**

担当者連絡先
(法人の場合は記入)
[所在地] 神奈川県〇〇市〇〇 〇-〇-〇 (電話) 04-0000-0000
[担当者名] △△△△ (部署) △△課
[メールアドレス] XXX@XXX-XX.XX
[事業年度] 月 日 ~ 月 日 (決算日)

※該当する区分全てにチェック(☑)し、必要事項を記入してください。

本校との関係
 保護者 (学生氏名) (学生) 年生
 同窓 (卒業学部等) 医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・看護専門学校・その他()
 職員 (所属) (勤務地) ()
 一般

※分割によるお支払いをご希望の場合はチェック(☑)してください。

振込方法(払込方法)
 分割による申込
分割回数: **2** 回
払込金額 各回 **500,000** 円

お問い合わせ・ご提出先 ①~⑤の郵送先はBページをご確認ください

①旗の台校舎(臨床講座)、昭和大学病院、東病院、歯科病院、身山病院、保健医療学部
総務研究推進センター研究支援課 (03-3784-8019)

②富士吉田教育部 富士吉田校務課 (0555-22-4403)

③北都病院 北都病院管理課 (045-949-7107)

④江東豊洲病院 江東豊洲病院管理課 (03-6204-6302)

⑤藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 藤が丘病院管理課 (045-974-6206)

※ご寄付先より申込書の届出先、お問い合わせ先が異なります。

※大学総務課 受取者指定寄付 受付番号

2023年10月更新

- 1 寄付対象となる講座名、教室名などをご記入ください。
- 2 法人で申し込まれる場合、法人名、ご担当者様連絡先をご記入ください。
- 3 納入方法は「一括」または「分割」が選択できます。「分割」の場合、分割回数と各回の振込金額をご記入ください。



会員要件

学校法人昭和大学に関係ある方及び一般の有志とし、法人に醸金をいただいた方で6年間の醸金額合計が、個人会員100万円以上/法人(企業・諸団体等)会員1,000万円以上の方

会員期間

6年間 ※更新可
会員様には年に数回開催される総会にご招待させていただきます。法人役員ならびに会員相互で懇親を深めていただくとともに、昭和大学の未来を創る有意義な場としたいと考えております。またその他には、法人及び法人の設置する学校の刊行物の贈呈、諸行事へのご招待他、様々な顕彰を予定しております。
是非とも多くの方々からご賛同いただきご入会くださいますようお願い申し上げます。



■ 申込・問い合わせ ■
学校法人昭和大学 総務部秘書課 TEL:03-3784-8001 Mail:hishoka@ofc.showa-u.ac.jp